

第6回 長崎都市経営戦略推進会議

令和3年4月14日(水)

10:00~11:30

長崎商工会議所2階特別会議室

議 題 等	資 料
1. 開会	
2. 議題等	
(1) 長崎サミットプロジェクトの推進について	資料 1
(2) オープンイノベーションの手法によるプロジェクトへの取組の現状について	資料 2
(3) 第23回長崎サミットにおける発言項目案について	資料 3

<今後のスケジュール>

第7回、8回推進会議 (今後日程調整)

第23回長崎サミット 令和3年5月28日(金)

第24回長崎サミット 令和3年11月5日(金)

第6回 長崎都市経営戦略推進会議 資料一覧

- ① 次第
- ② 出席者名簿
- ③ 資料1-1 長崎サミットプロジェクトの課題等
- ④ 資料2-1 Dejima Naigai Crew (おさかなサブスク)
- ⑤ 資料2-2 協力体制図
- ⑥ 資料2-3 産学官連携等に係るプラットフォーム等
- ⑦ 資料3 第23回長崎サミットにおける発言項目案

長崎サミットプロジェクトの課題等

プロジェクト等	活動等	課題・対応等
長崎夜景プロモーション実行委員会	夜景プロモーション実行委員会（会長：山口商工会議所副会頭）の活動等 ①「祈りの光」（平和公園から上る光の柱）点灯事業 ②光のおもてなし ③「長崎夜曲」、「長崎夜曲動画」の各種大会、イベント等での活用 ・「長崎夜曲」の著作物使用許諾等に係る経費を支援協会助成（H31） ④長崎市「環長崎港夜景景観向上基本計画」（H29年度策定）	○活動の広がり ○長崎市「世界夜景サミット」開催（R3.11 主催：夜景観光コンベンションビューロー）との連携事業 ○長崎市「環長崎港夜景景観向上基本計画」に基づく夜景景観向上 ○ナイトタイムエコノミーの推進 ・市の支援事業活用検討
長崎かんぼこ王国	①イベント等における販売活動 ・キッチンカーの活用等 ・キッチンカー製作等に係る経費を支援協会助成 ②新幹線開業に向けた出店の検討 ③情報発信等検討	○新幹線開業に向けた土産品の開発・販売の検討
魚の美味しいまち長崎 （養殖漁業振興対策との合同）	①「海のオーケストラ」実証実験 ・推進会議の活動費充当 ・長崎の魚を素材とした「海オケ丼（海鮮丼）」等の商品を市内3ホテルが開発・販売（R2.11）し、アンケートを徴収（100食程度販売） ・コロナ第3波による緊急事態宣言等のため休止状態	○アンケート結果等の検証を行い、商品の改善、提供店の拡大、関係機関の連携強化等を図る ○長崎市の「さしみシティ」（長崎の刺身のPR強化）の事業制度活用・連携強化。その他の支援策の活用検討 ○県事業の情報発信、イベント等連携・活用

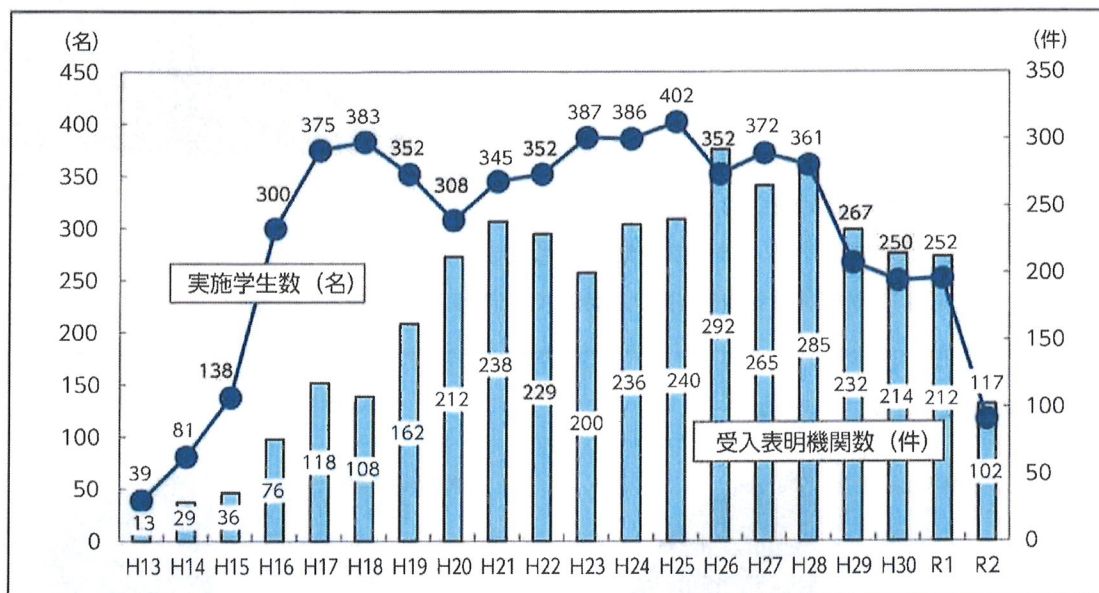
W T 等 名	活 動 等	課 題 ・ 対 応 等
養殖業業振興対策	<p>①長崎大学海洋未来イノベーション機構「次世代養殖戦略会議」の活動</p>	<p>○インテリジェント養殖等 [ブリ] ・エネルギー、通信等との融合による生簀モニタリング、沖合養殖 ・養殖業者のネットワークと核になる企業必要 [アカハタ] ・陸上養殖への取組 [トラフグ] ・陸上養殖、無毒化への取組 ・加工、海外展開等のための組織の必要</p>
産学官連携 (若者の地元定着等)	<p>①若者の地元定着に関する各機関の取組についての情報共有、連携 ②「NAGASAKIしごとみらい博」のオンラインによる実施 ・学生生活の早い段階で長崎で働くことを選択してもらう契機とする ・企業PR動画、Zoomによる県内企業と学生とのリアルタイム交流等実施 ・実行委員会に対し支援協会助成</p>	<p>○当面は現状の把握（コロナ禍の影響等） ○企業・学生（大学）の接点を増やす取組</p>
留学生支援	<p>①産学官による推進体制を構築し、留学生の就職支援、生活支援、受入・派遣促進を実施 ②新体制強化、支援活動への参加者の増のため、留学生支援センターの法人化準備（R3.4～法人化予定）</p>	<p>○留学生支援センターの法人化による連携・活動強化</p>

W T 等 名	活 動 等	課 題 ・ 対 応 等
MICE関連	<ul style="list-style-type: none"> ①MICE開業についての市民等への周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ MICE開業1年前イベント ②誘致体制の強化 ③MICE関連事業の地元企業による受注促進等 <ul style="list-style-type: none"> ・ MICE事業者ネットワーク活動 ・ MICEスクール開催 ④MICE誘致推進協議会に対する支援協会の助成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誘致活動、MICE事業者ネットワーク活動、MICEクール共催、開業1年前イベント等 	<ul style="list-style-type: none"> ○MICE開業効果等の地元への波及 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済波及効果、市民のMICE参画、学術・技術・イノベーションの振興等 ・ 誘致への協力 ・ 関連事業の受注体制強化 ○MICE開業に係るイベント等への参画・協力 <ul style="list-style-type: none"> ・ こけら落としイベント（R3.11）等 ○長崎市「観光・MICE戦略」、長崎国際観光コンベンション協会「長崎市版DMO事業計画」策定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「戦略」の具体化
新幹線開業効果最大化	<ul style="list-style-type: none"> ○新幹線開業アクションプラン（県・沿線市）の具体化に向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○出島メッセ長崎開業、長崎開港450周年等のイベントと連動した機運醸成 ○県内青年団体等による実行委員会設立 気運醸成、受入体制強化 ○土産品の開発・商品化等の検討 ○（市内）周遊等に係る交通体制整備検討 等

大学生インターンシップ推進事業を振り返る

長崎県経営者協会がインターンシップ推進の取り組みを始めてから令和2年で20年を迎えました。平成13年のインターンシップ事業開始以来、県内大学や関係行政機関並びに経済団体等と連携して、受入企業様・学生数を増やし、また県外大学生の受入や留学生支援など取り組みの幅を拡大。平成22年には長崎県、県内大学、長崎県経営者協会が中心となって「長崎インターンシップ推進協議会」が設立されました。当協会は事務局として受入企業開拓やマッチング等で県内企業と大学・学生との橋渡しを行ってきました。

過去のインターンシップ受入企業数及び参加学生数の推移（平成13～令和2年の20年間）



県内のインターンシップ事業は、受入表明機関数13件、参加学生39名から始まりました。関係各所の啓発等による「インターンシップ」の浸透とともに参加数は増加し、平成25年には学生402名、翌平成26年には受入表明企業数が292件と最大数を示しています。

平成13年から令和2年にかけての参加学生の累積は5,819名となります。また、近年、各大学独自のインターンシップ制度創設や、採用活動と連動したワンデイインターンシップ等の実施などに伴い、参加者は減少傾向にあります。さらに、本年度は特に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて受入先、参加者共に大幅に減少したことが見受けられます。しかし、実施後の報告書では、対面型インターンシップを望む声もあり、リアルな職場を知ってもらうための就業体験型インターンシップの役割はまだ大きいと考えられます。

本事業は、学生の就業体験を主な目的とし、その体験を通して地元企業と学生の接触を促し「地元企業のPR」「人材育成・定着」「地域の発展」等に繋げるためのものです。その趣旨をご理解いただき、門戸を開いてくださった企業・団体の皆さまのご協力により、これまで継続することができました。心より御礼申し上げます。

事務局は令和3年度より長崎県 産業労働部 若者定着課内に移管いたしますが、今後ともインターンシップ実施へ変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

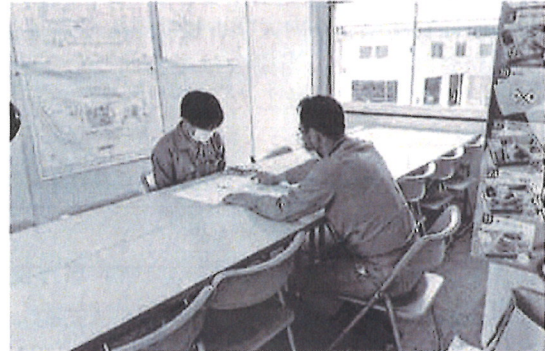
問合せ先 長崎インターンシップ推進協議会

令和2年度に取り組む事業のご紹介

インターンシップへのご協力ありがとうございました!

令和2年度は117名の学生がインターンシップ実習に参加いたしました。企業・団体の皆様のご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。

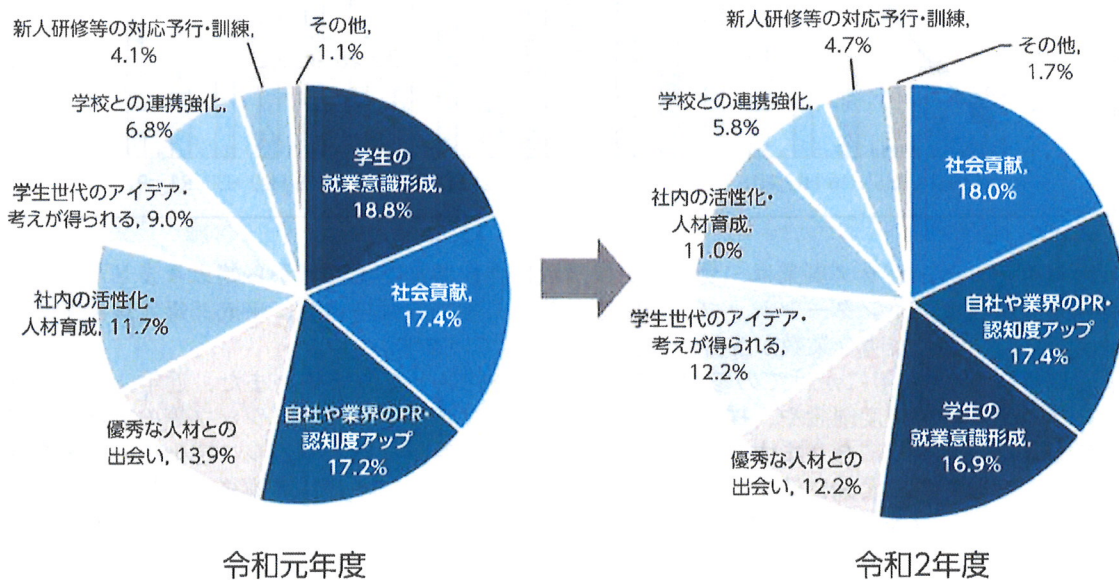
学生を受け入れた企業・団体担当者様からは「研修に前向きに取り組んでいた。業界への就職意欲が高まり、今後の課題ができた等の意見もあり嬉しく思う。」「実習中に与えた課題について、学生目線で取り組んでいただき、参考になる提案をしていただいた。」等の声をいただきました。学生が真摯に取り組む様子を感じられる実習となったようです。



三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社 研修風景

実習後に提出いただいている報告書によると、例年、インターンシップ生を受入れる目的として「社会貢献」

「自社や業界のPR・認知度アップ」「学生の就業意識形成」の3項目が高い割合を占めています。今年も大きな変化はなく、この3項目がそれぞれ同程度で、合計で全体の5割超となっています。



「インターンシップの受入の目的は何でしたか」～「受入企業による事後評価報告」より～

長崎インターンシップ推進協議会は、長崎県経営者協会に設置していた事務局を令和3年4月より長崎県産業労働部 若者定着課内に移管いたします。20年にわたるご芳情に感謝申し上げますとともに、今後ともインターンシップ実施へ変わらぬご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

問合せ先

長崎インターンシップ推進協議会

CO-DEJIMA

長崎の地域課題と都市部のリソースを掛け合わせることによって
長崎発のイノベーションをCO-DEJIMAにて推進します。

コミュニティパートナー

Innovation Space DEJIMA



Innovation Space DEJIMAにて開催されている、自治体が抱える地域課題をテーマに、企業の手カラで解決に向けた新規事業を創出していくためのワークショップ「デジマ式 plus」。

長崎市が課題を持ち込んだことにより、企業 6 社と議論が継続中。

CO-DEJIMAコーディネーター 鎌先インタビューが掲載されています。

[【Innovation Space DEJIMA 掲載記事】](#)

CO-DEJIMA

SHIBUYA QWS(渋谷キューズ)



日本を代表するイノベーションディストリクトである渋谷。その中心に位置するSHIBUYA QWS（渋谷キューズ）とのコミュニティ相互対流に向け、CO-DEJIMAとの共同イベント企画等を実施。スタートアップの機運醸成や新たな事業を創出していく。

Work Design Lab



Work Design Lab

「個の創造性を解放し、社会をよりよく変えていく」というミッションのもと、日本の「働く」の未来をよりよいものにすべく活動している一般社団法人Work Design Lab。「複業」や「ワーケーション」を切り口とし、地域資源を活用した関係人口の拡大について、長崎と二人三脚にて取組む。

i2.JP



「患者中心の実現」「医療従事者への付加価値提供」「ヘルスケア分野の問題 解決」を目指すべく、スタートアップ、医療従事者、地方自治体、アカデミア、民間企業を結び付け、集合知で実用的な最適解を一緒に生み出すためのオープン イノベーションネットワーク。



プライバシー
利用規約



全国各地（地域）の人や企業（技術）、アイデア、情報をつなぎ合わせて新しい価値を共創するためのワーキングスペースとして、イノベーションの共創に必要な様々な機能（ハード面・ソフト面）を提供することで、そこから生まれる既存の枠組を超えた「仕組み（エコシステム）」によるビジネス機会の創出を目指しています。

【TOKYO】 / 【FUKUOKA】

FFF



Find Fish's Future Project

「今よりもうまいサカナへ（味への挑戦）」、「うまいサカナをいきわたらせる（心理/物理的距離への挑戦）」、「うまいサカナをこれからもずっと（持続性への挑戦）」の3つの理念を掲げ、長崎から始まる、サカナの未来を探索するプロジェクトのコミュニティー。

Dejima Naigai Crew





地場企業等が持つ課題と、都市圏企業等が持つリソース（ヒト、カネ等）、ソリューションを掛け合わせ、新規事業を共創・長崎発のイノベーションを起こしていく動きを、広域自治体・基礎自治体・メディア・金融等が横断的に連携し、支援を行うチーム。

チームメンバーは現在のものに限定する意図はなく、一緒にオープンイノベーション支援を推進していく仲間（自治体、メディア、金融機関等）は随時歓迎しておりますのでお気軽にお問合せください。また、プロジェクト推進に係る、企業等からのお問合せも以下までお願いします。

[お問い合わせ](#)

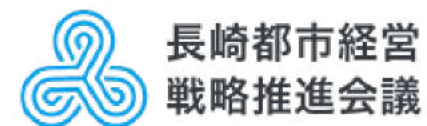
[Dejima Naigai Crew推進 プロジェクト一覧](#)

構成団体

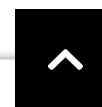




株式会社
長崎経済研究所



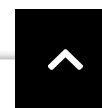
協力団体



プライバシー
利用規約

CO-DEJIMA

施設連携



Dejima Naigai Crew 推進プロジェクト一覧

県内×県外企業によるオープンイノベーション型新規事業創出支援 プロジェクト

おさかなサブスク



「水揚げ魚種が豊富」という長崎の強みを活かし、冷凍加工した複数魚種の切り身等をサブスクリプションで首都圏向けに販売するプロジェクトを推進支援中。

- フェイスブックページ
- 掲載メディア
 - ロイター



雲仙における課題解決を、企業や複業者、学生等向けに「学びのコンテンツ」「新規ビジネスモデル」化できないか企画、検討することの支援を行う。

伝統産業の担い手創出



会員135万人が利用するスキマバイトアプリ、Timee(タイミー)。
地方創生事業の一環として、伝統産業の担い手創出ソリューションを長崎の地域課題ベースにて構築できないか議論検討中。

カイロス



地方における課題解決型の新規事業創出PFについて、企画・検討していくことの支援を行う。



Find Fish's Future Project

おさかなサブスク

新鮮でバラエティに富んだお刺身の盛り合わせを
長崎から急速冷凍で月2回お届けします。

| [取り扱い商品](#) | [FFF Projectについて](#) | [お問い合わせ](#) |



Find Fish's Future Project

私たちが
うまいと信じる
サカナの未来

県内 × 県外企業によるオープンイノベーション 長崎から始まる、サカナの未来を探索するプロジェクト

サカナはうまい。私たちの活動は、ここからスタートしています。

長崎では当たり前食卓に根付いている魚食の文化がありますが、いま、全国的には魚離れが叫ばれています。

それはそれで、食の選択肢が広がり豊かになっていることの表れで、もちろんいいことだと思います。

でも、もし、うまいサカナに会ってないだけだったら、

品質の劣化したものを食べて苦手意識をもっているだけだったら、それは少しもったいない。

まだまだサカナにはポテンシャルがある。底力がある。そう信じ立ち上がったのがこのFFF Projectです。

もっといえば、われわれもまだ知らないうまい食べ方だって発見できるかもしれません。

私たちの活動に、サカナの未来に、どうぞご期待ください。もちろん既にサカナ好きのみなさんも。

FFF Projectの3つのVision

今よりもうまいサカナへ

味への挑戦

加工や保存によって劣化するうまさを、いかにゼロに近づけるか。そして、今までにない、もっとうまく食べる方法はないか。サカナ本来の味、未来の味を探求し、みなさんに食べてもらうことを目指します。(なによりも私たち自身がうまく食べたい、というのが正直なところ。)



うまいサカナを、いきわたらせる

心理／物理的距離への挑戦

まだまだサカナを食べてもらう余地はあるはず。味のこと、栄養のこと、知らなかった種類、食べ方、歴史、最新技術、地球との関係性。知ってもらえたら、変わるかもしれない。押しつけではなく、長崎では当たり前の魚食文化が本当に幸せだなあと思うから、距離を超えて届けます。



うまいサカナを、これからもずっと

持続性への挑戦

漁業をもっと収入のある職業にすること。後継者が夢を持って技術を引き継いでいけるようにすること。生活者へ安心できるサカナを安定して供給できるようにすること。海や大地に負担をかけない持続可能なエコシステムをつくること。これから将来にわたってうまいサカナを食べ続けられる社会を目指して、今できることをやっていきます。



お試し1回分/4月限定



Find Fish's Future Project



Find Fish's Future Project




 Find Fish's Future Project
 魚種No 023
 ヒラス 刺身(冷凍) 養殖
 名称 鮮魚
 原材料名 ヒラス (長崎県産)
 内容量 1P
 賞味期限 2021.3.12
 保存方法 要冷凍-18℃以下
 加工者
 (株)ジョイフルサンアルファ
 長崎県西彼杵郡長与町 高田郷1804
 TEL095-856-1521


023
 ヒラス

一般的には「ヒラマサ」と呼ばれますね。長崎では「ヒラス」と呼びます。スズキ目アジ科に属し、アジ科の中で一番大きく成長する魚で、成魚では1m以上に成長します。ブリ御三家「ブリ・ヒラス・カンパチ」と呼ばれ、その中で時速50km以上で泳ぐヒラスは最も脂肪分が少なく、さっぱりした味わいです。活魚を好む九州、特に長崎人にとって親しみのある高級魚で、コリコリした歯ごたえと、程よい脂の乗りと淡白でしっかりした身がたまらなく美味しく感じます。私が刺身の盛り合わせを食べるときは、必ずヒラスが無いと納得できないくらい大好きなお魚です。私の一番押しの魚ですので、是非、ヒラスの美味しさを堪能していただければ幸いです。

株式会社ジョイフルサンアルファ
 プロセスセンター本部 運営部
 本部長 森 寿彦



Find Fish's Future Project



Find Fish's Future Project



Find Fish's Future Project
魚種No 121

名称 クエ (冷凍) 天然
原材料名 クエ (長崎県産)
内容量 1P
賞味期限 2021.3.12
保存方法 要冷凍-18℃以下
加工者 (株)ジョイフルサンアルファ
長崎県西彼杵郡高島町1804
TEL.095-856-1521



121
クエ



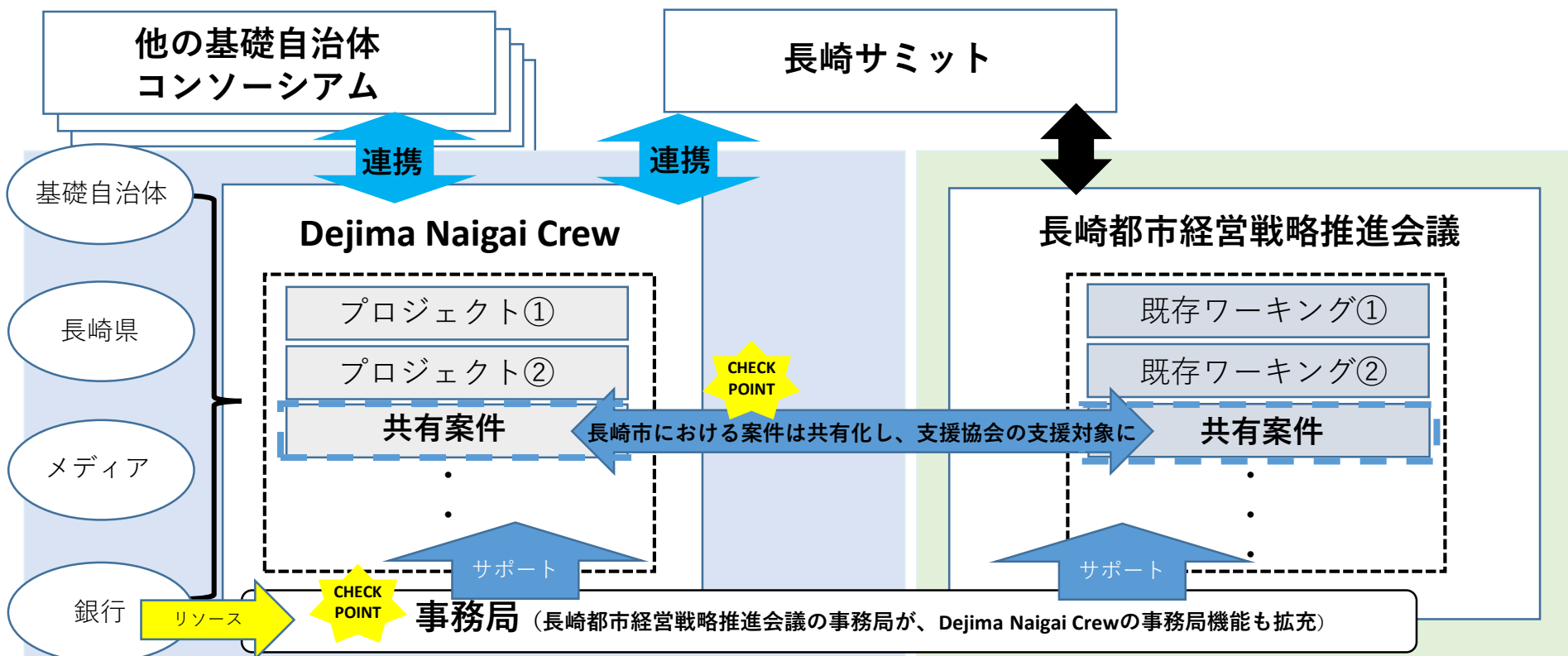
Find Fish's Future Project

(新案②) 長崎サミットと連携した「出島」組織 「Dejima Naigai Crew」

- 「Dejima Naigai Crew」は長崎サミットでの議論をきっかけに、既存の長崎都市経営戦略推進会議とは別のチームとして設立。
- このチームは、「広域自治体・基礎自治体・メディア・金融等が横断的に連携し、オープンイノベーション推進支援の動きを行っていく関係各ステークホルダーの出島組織」として、基礎自治体等が横断的に連携することを前提とした組織体。

※「Dejima Naigai Crew」は支援部隊であり、各プロジェクトのプレイヤーは地場、都市部の企業等

- 長崎サミットだけでなく、他の基礎自治体のコンソーシアムにも関わっていくことを見込む。



- Dejima Naigai Crewのプロジェクトを一部、長崎都市経営戦略推進会議のワーキングへ合流させることを見込む等、今後、Dejima Naigai Crew、長崎都市経営戦略推進会議が一体となって推進していく事柄も発生するため、連携強化の意味でも、両者の事務局機能は一体化する。
- 長崎都市経営戦略推進会議の事務局運営については、全てが（一社）長崎都市経営支援協会の拠出リソースに依存しているわけではなく、県全域の地域活性化に資する銀行リソースに依る部分もあるため、同事務局においては、Dejima Naigai Crewの後方支援を行い、県全域のイノベーション推進に寄与していくもの。

産学官連携等に係るプラットフォーム等

プラットフォーム等	拠点・事務局	構成等	目的・活動等の内容
Society5.0	長崎県 (次世代情報化推進室)	事業者、業界団体、ICT業界、大学、金融、各市町 等	<ul style="list-style-type: none"> ○Society5.0の実現に向けた産学官金によるオープンイノベーションによる開発・実証・実装 ○AI、IoT、ビッグデータ等による地域課題の解決 ○DXの推進による生産性向上等
長崎市における地域活性化・地域課題解決に関する連携協定	長崎市 (都市経営室)	長崎市、NTT-US、NTT-W、長崎大、長崎県立大、JSB・FFG	<ul style="list-style-type: none"> ○IT活用による地域課題解決の支援 ○まちづくり支援
長崎オープンイノベーション拠点	長崎大学 (研究推進課)	長崎県、長崎県産業振興財団、長崎大学	<ul style="list-style-type: none"> ○長崎県の産業振興、地域課題解決のため、県・財団・大学が有する資源、機能等の効果的な活用 ○4分野、5領域で連携・協働・人事交流
FFGアントレプレナーシップセンター	長崎大学 研究開発推進機構	FFG寄附講座	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代のアントレプレナー人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・学部生・院生向け教育プログラム、社会人向け履修証明プログラム、研究者向けインキュベーションプログラム提供 ・大学の知財の事業化・実用化促進 ・アントレプレナーシップ、ベンチャー創出に関する情報発信、交流連携機会提供
次世代養殖戦略会議	長崎大学 (海洋未来イノベーション機構)	長崎大学、会員企業等	<ul style="list-style-type: none"> ○水産業活性化、海洋生物を活用した創薬、海洋をキラーコンテンツとした観光産業、海洋環境産業等異分野・異業種間で連携構築 ○水産海洋産業の情報収集等、大学と共同での技術開発・産業化支援、大型資金獲得支援、異分野・異業種間連携支援、創薬連携支援

プラットフォーム等	拠点・事務局	構成等	目的・活動等の内容
ながさきサステナ エネルギー	(株)ながさきサステナ エネルギー (長崎市環境部)	[株主] 協和機電HD、不動技研 工業、三基、中央環境、長崎 地域電力、ホルス、JSB、 長崎市	○目的 ・長崎市における再生可能エネルギーの地産地消によるCO2削減、新たな脱炭素社会の創出による地域内資金循環促進、雇用創出、地域活性化につながる脱炭素なまちづくり推進 ・産学官が連携した脱炭素事業につながるプラットフォーム構築 ○事業 ・小売り電気事業等 ・エネルギー全般に関する役務・サービス提供 ・エネルギーコスト低減、分散型エネルギー コンサルティング等 ・SDG s、Society5.0、地域環境共生圏、国際環境協力関係事業
Dejima Naigai Crew	JSB (長崎都市経営戦略 推進会議)	JSB、長崎県、長崎市	○「オープンイノベーション」手法を用いて長崎地域以外の自治体も含めプロジェクトの推進を支援するグループ
CO-DEJIMA	長崎県産業振興財団		○県内・県外企業によるオープンイノベーション型新規事業創出支援 ・長崎の地域課題と都市部のリソースを掛け合わせることによって長崎発イノベーションを推進
「長崎の変」	長崎県 (広報課)	長崎県	○長崎出身の著名人による情報発信 ○県全体を元気にするアイデアを公募し、自発的なプロジェクトを通して本県に興味・関心を持ってもらう

第 23 回長崎サミットにおける発言項目案（テーマ、トップ発言等）

1. まちづくりの進展等に伴う新たな取組

- ※ 長崎市まちづくりに係る VR 動画、ジャパネット HD 高田社長メッセージ放映予定
 - 新幹線開業効果
 - スタジアムシティープロジェクト等への協力・連携
 - 人の流れをつくる 交通対策等

2. 地域経済活性化に係るプロジェクトの推進について

- 具体的な取組・連携方策等について意見交換
- DX、業態転換、企業・人材の誘致、情報発信、カーボンニュートラル等について、特に重点的に連携を強化して取り組みたいこと
 - ・ 各団体の新規事業、事業計画等に基づく取組
 - ・ プラットフォームの活用、スタートアップ強化等
- ※ これまで W T で検討し取り組んできたプロジェクト（既存プロジェクト）、オープンイノベーションの手法で推進するプロジェクトについて事例を示す。

【参考】

第 22 回長崎サミットまとめ（副議長）

①～③については、第 22 回長崎サミットでの議論を踏まえて、取組の具体化を図るとともに、次回以降の長崎サミットの運営に反映

- ① 外部と連携しながら、経済活性化につながる具体的な取組の成果を出していく
- ② 「長崎が面白い」という評価が全国に広がり、長崎に人が集まってくることにより、また新しいこと、面白いことが起こるといふ大きな流れを作る意思表示としてのオープンイノベーション宣言
- ③ 具体的な取組のうち特に重要なものとして、新幹線開業効果の最大化、出島メッセ長崎、長崎開港 450 周年、のもぎき恐竜パーク、地域課題解決を主に扱う新しい各種プロジェクト。これらの成功に向けた連携の重要性
- ④ 当面の最重要課題として、新型コロナウイルス感染症拡大防止と経済の両立のための施策を各分野で強力で推進していく